

伊賀米の高品質・良食味米をめざして!!

◎令和3年産米集荷状況について（10月30日現在）

集荷状況は、伊賀ふるさと管内全体で約89%の実績（165,789俵）となっており、1等米比率は約74.5%となりました。出穂前～出穂期に斑点米カメムシ類が多く発生した影響で、全体の33.8%がカメムシ被害粒の等級落ちとなりました。

次年産についても、カメムシ防除体系の見直しや、地域一体となった防除対策に取り組ましましょう。

◎過去3カ年の等級格付落ち内容について

	令和元年産米		令和2年産米		令和3年産米	
	格落ち理由	比率	格落ち理由	比率	格落ち理由	比率
1	基部未熟	33.2%	カメムシ	34.8%	カメムシ	33.8%
2	乳白	24.2%	基部未熟	24.0%	乳白	18.2%
3	カメムシ	20.8%	乳白	11.8%	基部未熟	17.7%

◎格付落ち内容の原因と対策について

	原因	対策
カメムシ	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年発生した場合や、高温な年に発生 ・中山間地での発生 ・熟期が周辺水田と異なると被害が集中する ・荒廃地での越冬 	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫後から次年度植付けまでの間も畔草管理を行い、水田周辺にカメムシの越冬できる場所を減らす。 ・出穂期頃の草刈りを避け、出穂10日前までに済ませる。 ・穂ばらみ期から穂ぞろえ期にかけて一斉防除（集団防除が効果的）を行う。 ・荒廃地は害虫の住み家となるため、地域で管理の呼びかけを行う。 ※施設へ搬入される方についてもカメムシの防除を実施して下さい。
基部未熟粒	<ul style="list-style-type: none"> ・米粒の最後に充実する胚芽の付いている基部が成熟最終期に高温、風害、倒伏、病害虫等の障害によってデンプンの蓄積が不十分な場合にその部分が白色不透明となる。 ・早期落水した場合や倒伏した場合 	<ul style="list-style-type: none"> ・土づくり資材の施用 ・適正な穂肥の施用（2回目の穂肥を増肥） ・倒伏防止 ・いもち病、紋枯れ病等の防除
乳白	<ul style="list-style-type: none"> ・登熟初中期が高温の場合に発生が多い ・急速な粒の生長にデンプンの蓄積が追いつかない場合に発生 ・籾数が多いと多発する（デンプン等の養分が末端の籾まで行き渡らないため） ・冠水や強風によって倒伏した場合に発生しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・土づくり資材の施用 ・適正な穂肥の施用（2回目の穂肥を増肥） ・倒伏防止 ・出穂後、夜温が高い場合は、夕方入水し地温を下げる
茶米	<ul style="list-style-type: none"> ・稲の開花、成熟初期に高温あるいは降雨等の気象障害をうけた場合 ・成熟途中におけるごま葉枯病菌、いもち病菌等の侵入 ・窒素過多や磷酸欠乏 	<ul style="list-style-type: none"> ・施肥量を減らし出来すぎを防ぐ。 ・いもち病、紋枯れ病等の防除を行う。 ・刈り遅れしない。 ・刈り取り後の乾燥を早めにする。
胴割	<ul style="list-style-type: none"> ・早期落水や刈り遅れで発生が多い ・高水分籾の高温乾燥、過乾燥で発生 ・籾摺機のロールの締めすぎ 	<ul style="list-style-type: none"> ・刈取前までの適正水管理（間断灌水等） ・適期収穫（刈り遅れ防止） ・急激な乾燥を避ける（毎時0.8%以下の乾燥） ・仕上水分設定（14.5%）

◎今後の作業について（土づくり）

- ・稲わらの年内全量すき込みをしましょう。
- ・土壌改良材の施用をしましょう。
- ・土壌診断を行い、圃場の状態を確認してみましょう。

米集荷のお知らせ

JAでは、さらなる米集荷の積上げ運動を行い、直売の販売強化・有利販売を行ないますので自家消費分の見直しをして頂き、1袋でも多く出荷くださいます様お願いします。

集荷日：11月15日(月)～19日(金)

検査日：11月22日(月)

※ 時間・集荷場所・検査場所については、最寄りの営農経済センターまでお問い合わせ下さい。

水稻肥料農薬生産者説明会開催のお知らせ

令和3年度水稻肥料農薬生産者説明会を各営農経済センター単位で開催しますので、生産者の皆様方には是非参加頂きます様お願いします。詳しい内容については、最寄りの営農経済センターまでお問い合わせ下さい。

